

# 唯物論研究

## 特集 われわれにとって 国家とは何か

現代日本国家論の課題 …………… 渡辺 治

倒すべきものとしての国家、

つくるべきものとしての国家………… 高田 求

近代日本における知識人と国家 …… 田平暢志

近代日本における

労働者の階級意識形成と国家観 …… 鈴木正幸

批判的政治意識と現代文化 …… 赤井正二

---

〈現代科学と唯物論〉

情報論に関するスケッチ …………… 石沢篤郎

〈哲学史研究〉

14世紀のイスラム学における

経済理論 …… 篠田暢之

9

号 1983年 9月 唯物論研究協会編集

白石書店

●大著『ソ連邦史』の著者がスターリン死後30年の議論を総括

## スターリン主義とはなにか

G・ボツファ著

今世紀の歴史に巨大な影を落としたスターリン。彼はいったい何者なのか？その神話が地に落ちた今もおかしいヴェールに包まれる彼の人物像、思想、権力の核心に鋭いメスを入れる意欲的な力作。 46判・2000円

●コミュニケーションの原点を探る

## 言語と人間

 科学全書⑨

尾関周二著 なぜ言葉が意味をもつか、言語をのみだした人間とは何か、現代における言語の役割とは…。哲学の視点から、言語論の系譜を鳥瞰し、労働の意味を問いつつ、言語と人間の本質について掘り下げてゆく。 B 6判・1200円

●21世紀への市民的常識、エントロピー入門 安孫子誠也著

## エントロピーとエネルギー

 科学全書⑩

〈秩序から混沌へ〉をとらえた「エントロピー」の概念は、いま環境問題、宇宙進化など現代の根本問題に挑戦している。「エントロピー」を生み、育ててきた物理学者たちの努力をふりかえりながらその深い意味を考える。B 6判・1200円

●コンピュータが生み落した新たな問題群とその未来

## コンピュータ時代を考える

日本科学者会議編 目進月歩の頂点にあるコンピュータは人間社会をどのように変えてゆくのか。われわれは、それをどう考え、どう対応すべきなのか。自然科学と社会学の第一線の専門家が共同で探った、問題提起の書。46判・1500円

●そこまで来た情報新時代、それはわれわれの未来に何をもたらすか

## ニューメディア最前線

 隅井孝雄編著

テレビと電話であらゆる情報交換が可能となり在宅ショッピング、在宅勤務の時代が来るという。本書は日本と欧米の最新状況をレポートし、その光と陰、社会的活用や市民参加のあり方などを共同で探究してゆく。 46判・1500円

## 井尻正二選集

 全10巻完結 46判・各2000円

⑨ 哲学 I ヘーゲルに学ぶ

独自の創造的な科学思想を明らかにしている著者がその認識論との対比を通じて本質に迫ってゆく。

⑩ 哲学 II 弁証法の核心

哲学にまで昇華した自然科学の成果。ヘーゲル『大論理学』の批判と哲学の習作4篇を収録。

# 大月書店

東京都文京区本郷2-11-9・電話03(813)4651(代表)

# 唯物論研究

1983年 9月

9  
号

唯物論研究協会編集  
白石書店

## 目次

### 特集 われわれにとって国家とは何か

- 現代日本国家論の課題……………渡辺 治 2  
倒すべきものとしての国家, つくるべきもの  
としての国家……………高田 求 19  
近代日本における知識人と国家……………田平暢志 33  
近代日本における  
労働者の階級意識形成と国家観……………鈴木正幸 49  
批判的政治意識と現代文化……………赤井正二 60
- なぜ いま 哲学か  
歴史学の対象としての個人……………小谷汪之 72
- 文化時評  
大胆に, かつ軽やかに——歴史, 国家をいかに描くか 吉田千秋 80
- 現代科学と唯物論  
情報論に関するスケッチ……………石沢篤郎 88
- 哲学史研究  
14世紀のイスラム学における経済理論……………篠田暢之 103
- 読書ノート  
広松 渉著『存在と意味』……………佐藤和夫 114  
書評  
中村行秀ほか著  
『現代のための哲学』(全3巻)……………島田 豊 120  
岩崎允胤著『ヘレニズムの思想家』……………中村一彦 121  
古田光・鈴木正編著『近代日本の哲学』……………笠井 忠 123  
宮本十蔵編著『現代を生きる思想』……………村山紀昭 125  
尾関周二著『言語と人間』……………将積 茂 126  
岩佐 茂著『唯物論と科学的精神』……………牧野広義 127
- 海外事情紹介  
西ドイツとマルクス……………北村 実 130  
ユーゴでのマルクス・シンポジウムに  
参加して……………中野徹三 139
- 「矛盾」について……………寺沢恒信 146  
戸坂潤の文学論……………村本 敏 157
- 藤野渉先生を追悼する……………芝田進午 174

第10号のお知らせ/編集後記  
装幀INOデザイン・高田 宣子